

放射能に関しては様々、というより次々に情報がだされてきて、どこまで気をつけなければいいのか個人差も含めて難しいところがあります。知らされている数字だけで判断しているのか？から始まり、自分たちで計って確かめたいとの思いから昨年、市民ネットワーク鶴ヶ島で放射線測定器を購入しました。

□空間放射線量

私たちが購入したのは、空間放射線量を測定する小型の測定器。市が貸し出しをしているものと同じです。食品などの放射能の数値は測ることが出来ません。

この春から鶴ヶ島では給食センターに1台放射能測定器を設置し食材の測定を始めました。夏休み中は希望者の持ち込み測定も受けていました。また、冬休みにもあるそうです。

□親子で測定

当日、お天気は晴れというより猛暑の夏休み。子どもたちが普段遊んでるところの空間

放射線量はどんな数値になっているのかよく知りませんよね。本当に安全かな？まさかホットスポットなんてないよね、と市民ネットワーク鶴ヶ島の測定器1台と市役所からお借りした2台、合計3台で5cm、50cm、1mの3ポイントを計りました

空間放射線量の測定

いつも、子どもたちが遊んでる場所は、ほんとうに安全なのかな？と、生活クラブ生協鶴ヶ島と共催で、夏休み親子企画「親子DE放射線測定」を7/25水曜日に実施しました。

小学生とお母さんと、汗をかきかき測定を続け、富士見中央近隣公園で10箇所、栄小学校で27箇所計測した頃には、もう暑くてへとへとになってしまいました。

□枯葉や草むら

枯葉のたまっているところが高いのはみなさん知っていますが、大きな木がかぶさっているところは意外に低いことがわかりました。雨が降り

たらまた違ってくるかもしれません。ちよつとした草むらが結構高い数値なのも怖いと感じました。いつも子どもたちが走り回っている場所だからです。

富士見中央近隣公園で一番高かったのはグラウンドの隅っこの枯れ葉で0・146マ

イクロシーベルト。栄小の校庭では、校舎裏のグリーンボックス0・148マイクロナーベルト、大きな木がない所の草の上で0・136マイクロナーベルトでした。公園の外周植え込みは0・077マイクロナーベルト(50cm)でした。さいわい、除染の対象となる0・23マイクロナーベルトを超えたところはなくほっとしました。

いんぷおめーしょん

鎌仲ひとみ監督作品「内部被曝を生き抜く」のDVDを観る会をくらぶメゾンで企画したいと考えています。興味のある方は、市民ネットワーク鶴ヶ島までお問い合わせください。

生活クラブ生協くらぶメゾン鶴ヶ島内
(鶴ヶ島市富士見2-12-15)

